

ぴっぷ

謹んで新年の
お慶び申し上げます





新年ごあいさつ

代表理事組合長

大西 勝 視

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

皆様には常日頃からJAの事業推進にご理解とご協力を賜り心から御礼を申し上げ、今年も引き続き、ご愛顧下さいますようお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと水稻は田植え直後の低温で成長が遅れておりましたが、その後の天候が回復したものの、高温干ばつ気味の天候となり、昨年の単収と比較すると、1~2俵の減少傾向であり、畑作・青果については、干ばつの影響を受け、残念な結果となりました。水稻の作況指数は「作況単収指数」と名前を変え、農家の集荷実態に合わせた網目「1.9ミリ」を使い、全国「102」全道「98」上川「96」となりました。

JAの集荷率では計画対比85.3%の94,670俵にとどまり、前年対比でも10%ほど減少し、ゆめぴりか基準品率は約35%と近年になく少ない状況でありました。

昨年10月下旬には、日本初の女性首相が誕生し、農水大臣も農水省出身の43歳、若い鈴木新大臣が就任されました。「需要に応じたコメ生産が原則」で価格はマーケットの中で決まるべきだと強調しており、昨年は備蓄米が放出された影響で民間在庫が約218万トンとなり、令和8年産の目安は711万トンと示されました。

農業・農村を取り巻く環境は、物価高騰・生活環境が大きく変わる中、農業政策も食料システム法により価格形成の取組や食料安全保障の強化に向けて、初動5年間で「農業構造転換集中対策期間」とする農業農村整備事業や共同利用施設の再編と合理化など2兆5,000億ほどの補正予算が確保され、我々も各関係機関と検討しなければいけないと思っています。

合併については、4JAからの意見を集約し共通認識の確認など、12月に懇談会を開き、協議させて頂きました。これからも懇談会を開き意思疎通を図ってまいりたいと存じますので、今後ともよろしくお願い致します。

合せて、当農協は米を中心に、手数料が定額315円 / 俵から、諸般の物価高騰の影響や合併後の料率改正を視野に、定率制2.5%（合併時は3.0%）に切り替えたいことも協議検討させて頂きました。

足元には、まだまだ課題が多いところですが、本年がJA、組合員皆様にとって実り多い年となりますよう関係機関と共に連携を図りながら、JAぴっぴ町としても、JAグループの一員として、役職員一同、事業推進に努力して参りますので、今年も引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します。



比布町農業協同組合

代表理事組合長
理 事
理 事
理 事
理 事

大 西 勝 視
中 野 譲
北 川 雅 樹
片 澤 英 幸
松 岡 之 洋

信用担当理事
営農担当理事
代 表 監 事
監 事
員 外 監 事

鎌 田 貴 之
藤 本 敏 之
森 真須美
山 崎 誠 一
大 川 智





令和8年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽 井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移しておりましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

このような状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一歩を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。

JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んで参ります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。





新年にあたって

上川農業改良普及センター

所 長 山 本 正 浩

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり比布町農業協同組合の組合員とご家族の皆様にご挨拶と新年のお慶びを申し上げます。

また、平素より農業改良普及センターの活動に対し、ご理解とご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、近年は猛暑に悩まされる状況が続いています。令和7年は令和5年ほど影響は強くありませんでしたが気象変動も大きく、作業の適期を逸したり、特定の病害虫の多発により収量や品質が低下した作物もありました。

そのような中、収量・品質は平年と同等レベルを確保する作物も多くありました。これは、基本技術の励行と、厳しい気象環境に適した新たな技術を導入するなど、柔軟な対応によってもたらされた結果であり、生産者や比布町農業協同組合役職員の皆様、関係者各位の尽力に敬意を表します。

生産資材や機械類の値上がりが続いていますが、農産物価格もやっと上がり、再生産が可能な状況になりました。一方、市場の農産物価格が高騰している品目では、日本産の農産物離れが懸念され、これに伴って外国産の農産物が攻勢を仕掛けて来ています。人口減少社会において混沌とした状況は続きますが、国民のみなさまに安全で安心して購入することのできる日本の農産物を、安定的に供給することが我々日本の農業に携わるものの使命と考えます。国民の求める食料安全保障を実現するため、持続的な生産体制を維持していくことは重要ですが、農業に関わる人材の確保と、併せて、スマート化が可能な分野はそれを推進していくことが重要と考えます。

普及センターとしても皆様と一緒に考え、地域の活力向上に繋がる支援を続けて参ります。今後もお気軽にご相談下さい。

結びに、今年も皆様のご健勝で営農され、豊穡の秋を迎えられますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



上川農業改良普及センター

所 長 山本 正浩
次 長 川田 修

〈比布町・当麻町・愛別町・上川町〉

地域第二係長 白井 淳（水稲）
主査（地域支援） 李家 眞理（畑作）
主査（園 芸） 藤本 麻里（園芸）

専門普及指導員 野原 弘義（畜産）
専門普及指導員 堀田ひとみ（畑作）
専門普及指導員 谷村 秋穂（水稲）
普及指導員 道畑 乃映（園芸）

〈広域担当〉

主任普及指導員 松谷 智美
主任普及指導員 上田 朋法
主査（担い手） 岡元 幸恵
主査（情報・グリーン・有機） 竹村 和泰
主査（高付加価値化） 松田 聖子



新年のご挨拶

比布町青果振興会

会 長 菅 原 勝 美

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、日頃より青果振興会の事業に対しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

令和7年の青果物の状況としては、積雪は平年並みの中、雪解けも順調に進みました。
しかし春先の天候不順により、品目によっては初期生育に影響が見られました。夏場は近年猛暑傾向が続いていましたが、それを上回る記録的な暑さとなり、特に7月の月平均気温は平年より北海道全体で+4.8度、6月及び8月では+3.8度となり、統計開始以降で最も気温が高くなった年となりました。

その影響により生育障害や果実の着果不良などが見られ、会員の方々には例年以上に栽培にはご苦労されたことと思います。

最終的には振興会としての出荷量や販売金額とも一部品目を除き、前年を下回る見込みとなり厳しい結果となっております。

さて、農協並びに町の単独補助事業により、ハウス等ならびに作業機械の導入に加えて、夏場の高温障害対策として、遮光資材なども加えていただき、ありがとうございました。
今後も続く異常気象への対策に向け、各種資材や栽培方法を検討しながら関係機関とも連携を図り補助事業を活用しつつ、青果物の生育・品質の向上に努め、お客様に喜ばれる青果物の生産を目指して参ります。

また、一昨年より行っている青果振興会としての単独事業ですが、会員の方々に農協への出荷実績に対しての補助事業を今年も予定しています。なお、今後は事業への予算および農協の合併が協議されていることから、単独事業の見直しも検討することになると思います。

最後になりますが、皆様のご健勝と本年がご努力の実を結ぶ一年となりますことを心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

謹賀新年 比布町青果振興会

会		長	菅	原	勝	美	理	事	島	聖	一
副	会	長	西	間		互	理	事	佐	藤	孝
副	会	長	岡	田	浩	幸	理	事	小	西	諒
会		計	菅	原	雄	吉	監	事	島		行
理		事	田	沼	栄	介	監	事	片	澤	英
理		事	野	口	邦	弘					幸

新年のごあいさつ



2026



新年のご挨拶

比布町畑作振興会

会長 牧野 充記

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃、当振興会事業の推進に当たり、当会会員をはじめ関係各位よりご支援とご協力を賜りましたことに、改めて感謝申し上げます。

昨年の本稿挨拶を見返しますと、「総選挙を経て石破新政権が生まれ」と国内の情勢を冒頭に述べさせていただいておりましたが、本稿の依頼を受けた昨秋には、日本国初の女性首相として高市早苗政権が発足し、その間に農水大臣は合計4氏と目まぐるしく変わりました。食料をより安価に国民に届けることに重きを置くか？食料を安定して生産することに重きを置くか？そのどちらも国民にとって大切なことです。われわれ生産者においても国の施策に大きく左右されることが近年顕著と言わざるを得ません。さらには「トランプ関税」で世界中がその一挙手一投足に注目されたように、国内外の様々な要因やバランスの中で食料を作る農業が、いま改めて見直されています。

このような状況の中、我々生産者が取り組むべきことは、収量と品質の向上、そして、消費者に対し安全・安心な農産物を提供することです。当振興会では、その一助となるよう栽培技術などの情報提供などにも取り組んでまいります。

昨年、水稻および畑作物全般においては、近年の高温基調の気象傾向から、生育ステージは早め早めに推移し、圃場での栽培管理がこれまでの暦とは異なることが現れてきました。併せて病害虫に対しても新たな事象が見受けられ、それらに対応する技術が必要となっています。昨年は畑作3品目ではそれらの技術が功を奏し概ね豊作傾向になりました。

肥沃な土壌、病害虫の少ない環境を整えることと共に、新しい技術などを取り入れ未知なる環境下でも安定した生産技術が求められています。

当振興会では、本年も研修活動を始め例年の事業の推進とともに、各関係機関のご指導を賜りながら、町内の作業受託組織のご協力を頂き、畑作物振興を通して本町農業の更なる発展に繋ぐよう歩んでいきたいと思っております。

皆様におかれましては本年の健勝とともに、豊穡の出来秋を迎えられます事を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



比布町畑作振興会

会	長	牧	野	充	記	理	事	上	西	雄	二
副	会	長	北	川	雅	理	事	西	本	龍	二
副	会	長	佐	藤	良	理	事	高	橋	祐	司
会	計・書	記	中	野	讓	監	事	合	田	正	人
理	事	宮	崎	邦	夫	監	事	海老名	敬	久	



新年にあたり

比布町畜産振興会

会 長 森 勝 利

謹んで新春の祝詞を申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、関係各位、また皆様におかれましては、温かいご指導を賜りありがとうございました。

追想・・・

牧草収穫作業においては、好天に恵まれて6月中旬より、作業を開始した結果、高品質な乾牧草ロールを収穫しました。しかしながら、干ばつの影響なのか収穫量は前年より、1割減収の結果、年々、牧草地の地力低下が見受けられます。

動向・・・

（素畜）全国主要44市場における和子牛1頭当たりの取引価格は、70万円台の推移となっております。和牛は輸出が順調に伸びていますが、国内では消費者が物価高にあえぐなか、高価で需要が振るいません。しゃぶしゃぶやすき焼き用で牛肉消費が増える年末年始が需要のピークで、夏場は不需要期に当たります。急激な値上げはないが、全国的に小幅な値動きになりそうです。

（生乳）物価高や製品価格改定などの影響から、牛乳類の消費は今後も引き続き、前年を下回る可能性が高く結果として脱脂粉乳・バター等向け乳量が、高水準で推移することが見込まれます。

農林業センサス・・・

農林水産省は、農林業の実態把握のために、5年ごとに行っている2025年概数値を発表しました。北海道内は、5年前の前回調査と比べて19%減の5万7200人でした。管内別の基幹的農業従事者数と2020年からの変動率は、上川管内においては、8796人、21.8%で高齢者の離農が進み65歳以上が占める割合は、69.5%です。当、畜産振興会の会員一同も、この社会問題に直面しておりますが、皆様のご期待に沿えるよう、より一層精進して参ります。

本年も、何卒よろしくお願い致します。皆様にとって、明るく希望に溢れる1年となります様に、心よりお祈り申し上げます。



比布町畜産振興会

会	長	森	勝	利	監	事	大	倉	渉
副	会	長	熊	谷	繁	事	大	熊	勝
会	計	森	浩	恭					幸

新年のごあいさつ



2026



2026



新年のご挨拶

J A び っ ぷ 町 青 年 部

部 長 定 岡 伸 之

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられた事を心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より青年部活動に対しまして組合員の皆様、役職員の皆様のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、前年より続いた令和の米騒動により2月から始まった備蓄米の放出で、私たちが口にすることのなかった古古古古米が市場に出回る事態となりました。

生産の方では、春の天候不順で作業が遅れ、夏は猛暑により稲の生育に影響し、秋は大雨強風に見舞われ収穫作業が難儀する激動のシーズンを過ごした年でした。

そうした中でも環境の変化に対応出来るよう青年部らしい柔軟性を生かし、スマート農機の導入や蜜苗、直播栽培に取り組む「攻めの農業」先代より受け継いで来た農地や環境を後世まで継ぐ「守る農業」をこれからも実現できるように努めて行きたいと思います。

結びになりますが、青年部活動に対しまして皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、本年も皆様のご健勝で豊穡の秋が迎えられるようにご祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

J A び っ ぷ 町 青 年 部

部		長	定	岡	伸	之	理		事	奥	山	和	浩
副	部	長	稻	場	雄	哉	理		事	今	城	浩	貴
副		長	合	田	正	人	理		事	今	野	勝	貴
会		計	岩	渕	彬	人	監		事	廣	瀬	幸	寛
理		事	菅	原	一	将	監		事	池	田	良	平

(令和7年・8年) 年末年始業務(営業)日程 JAびっぶ町

部門 月日	事務所 資材店舗	金融店舗	ホクレン 比布給油所
12月29日(月)	平常営業 大掃除(業務納め)	平常営業	平常営業
12月30日(火)	休業	平常営業	平常営業
12月31日(水) 〈大晦日〉	休業	休業	短縮営業 8:00~17:00
1月1日(木) 〈元日〉	正月休業	正月休業	正月休業
1月2日(金)	休業	休業	休業
1月3日(土)	休業	休業	休業
1月4日(日)	休業	休業	平常営業
1月5日(月)	休業	平常営業	平常営業
1月6日(火)	平常営業	平常営業	平常営業

 比布町米麦改良協会

会 副 委 委 委 委 委	会 会	長 長 員 員 員 員	大 村 御 作 佐 大 中 松	西 中 田 藤 熊 野 岡	勝 一 正 恵 康 勝 之	視 徳 寛 一 則 幸 讓 洋	委 委 委 委 委 委 監 監	員 員 員 員 員 員 事 事	牧 高 安 林 浅 白 森 奥	野 橋 達 野 井 山	充 祐 順 敏 仁 真 和	記 司 一 裕 志 淳 須 美 浩
---------------------------------	--------	----------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------	---------------------------------	---



令和7年度水稻の生育状況などについて

令和7年の生育期間中は平均的に高温で経過し、作況にも様々な面で影響したと考えられます。収量は、昨年と比べやや減少しました。品質では、蛋白質含有率はやや高く、カメムシによる被害が一部で見られましたが、高温登熟で心配された白未熟粒、胴割粒は問題となるほど見られませんでした。

令和7年度の生育状況

令和7年度の融雪は3月中旬以降の気温が平年並に経過したこともあり、融雪期は4月7日と平年並（平年4月8日）でした。水稻の播種作業は例年並に行われ、播種期は4月19日でした。耕起作業は、4月22日と平年並に始まりましたが、その後は断続的な降雨のため作業はやや滞り、耕起最盛期は4月30日で平年より1日遅くなりました。移植作業は平年並に経過し、5月17日に移植始、5月21日に移植期を迎え、5月28日までに概ね終了しています。移植の前半は、気温は高めで苗の活着は良好でしたが、5月22日以降は低温で経過し、強風と相まって植え傷みも見られました。その後気温の上昇とともに生育は回復し、成苗「ななつぼし」の幼穂形成期は6月23日で平年より2日早く、7月1日の生育調査では、平米当たり茎数は平年比112%となりました。その後も高温に経過したため生育は進み、出穂期は7月17日で平年より6日早くなりました。出穂後も高温の状態が続いたため登熟は進み、成熟期は平年より9日早い8月31日となりました。収穫作業については、収穫始9月5日と平年より8日早まりました。その後は断続的な降雨と倒伏により作業はやや滞り、収穫終は平年より5日早い9月27日となりました。北海道農政事務所発表の作況単収指数は、10月25日現在で上川地方96となりました。（566kg/10a）

ゆめぴりかの基準品率

米粒中の蛋白質含有率は、昨年よりもやや高くなりました。全道的には昨年とほぼ同じですが、ホクレン旭川支所管内では昨年と比べやや高い傾向になっています。その結果、「ゆめぴりか」の基準品割合は製品ベースで33%となりました。

令和7年度の主要病害虫発生状況について

〇いもち病発生状況について

発生状況は「やや少」でした。比布町では7月下旬に感染好適日も見られましたが、大きな被害は見られませんでした。地域への蔓延を予防するためには予察と適期防除の実施が重要となります。

〇カメムシ（アカヒゲホソミドリカスミカメ）

発生量は平年と比べて「多」でした。水稻の生育ステージが早まったこともあり、一部に着色が原因となる調製が必要となりました。適期防除と追加防除の適切な要否判断が重要となります。

〇ヒメトビウンカの発生状況

発生状況は「やや多」でした。ヒメトビウンカの媒介による縞葉枯病は、町内で発生が散見されましたが、発生は軽微であり減収に至る水田はなかったと思われます。気象が高温傾向で経過しているので、今後注意が必要です。

〇乳白粒や腹白粒などの白未熟米について

乳白粒や腹白粒などの白未熟粒は登熟期間中のほ場水分が確保できたことなどにより、問題となるほどの発生は見られませんでした。





11月
12~14日

JAびっぷ町青年部 道外研修



JAびっぷ町青年部では、11月12日～14日に熊本県での道外研修を開催し、部員6名が参加しました。

2日目に見学した「花の香酒造」は1902年に創業され、自然農法を基本に環境保全や土地の文化も酒づくりの一環とした取り組みを日々続けており、無農薬、無肥料、稲は一本ずつ手で植える、馬耕作など、できる限り自然に近い農法を常に選択されていました。

次に見学した「菊鹿ワイナリー」は、2018年に開業したワイナリーで、自社農園、契約栽培、山鹿市産のブドウで醸造され、自社農園では約1.5haに約1,000本のブドウが作られており、湿気や病害虫の影響を受けないために、果房の位置を高くする棚仕立てで作られていました。工場では2,000ℓのタンクで2週間発酵、長くて2年間熟成、10～20℃で貯蔵されているとの事でした。

北海道は雪が降り積もる中、熊本県は20℃前後の気温でとても過ごしやすく、熊本城なども観光し交流を深めました。



11月
12~14日

JAびっぷ町 年金友の会 温泉湯治

JAびっぷ町 年金友の会では、11月12日～11月14日の2泊3日で美瑛町『白金温泉 ホテルパークヒルズ』にて温泉湯治を行いました。24名の方が参加され、レクリエーションではボッチャ大会を開催し、予想以上の盛り上がりとなりました。2日目にはJA主催の宴会があり、大西組合長も参加し、会員の皆様とビンゴ大会をしながら楽しい会食となりました。来年も皆様のご参加をお待ちしております。



お知らせ

職員が安心して働ける環境づくりとして、下記の基本方針を制定いたしました。
組合員・利用者のみなさまからいただくご意見や正当な苦情については真摯に対応してまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

カスタマーハラスメント対策基本方針

制定：令和7年10月23日

1. はじめに

比布町農業協同組合（以下「当組合」といいます。）は、組合員・地域の皆さまを含めた利用者からのご意見・ご指摘に真摯に対応し、信頼や期待に応え、より高い満足を提供することを心がけています。

そのためには、全役職員が心身ともに健やかに、いきいきと活躍できる、安全・安心で働きやすい職場環境を確保することが、重要と考えています。

昨今、社会通念上相当な範囲を超えた要求や言動については、カスタマーハラスメントとして社会問題化しており、職場環境の悪化を招く、ゆゆしき問題となっています。

当組合は、日ごろの取引や対応において、組合員・利用者及び取引先の皆さまに誠実に対応することを第一に掲げておりますが、仮に社会通念の範囲を超えた要求や言動が組合員・利用者の皆さまからあった場合には、毅然とした態度で組織的に対応します。

2. カスタマーハラスメントの定義

当組合では、「組合員・利用者及び取引先の皆さまからのお申し出・言動のうち、役職員が従事する業務の性質その他の事情に照らして社会通念上許容される範囲を超えたもの（社会通念に照らし、当該言動の内容が契約内容からして相当性を欠くもの、又は、手段・態様が相当でないもの）により、役職員の就業環境が害されるもの」と定義いたします。

【対象となる行為の例

（これらに限るものではありません）】

- 当組合の提供する商品・サービスに瑕疵・過失のない商品交換の要求、金銭補償の要求、謝罪の要求
- 当組合の提供する商品・サービスの内容とは関係のない要求
- 身体的な攻撃（暴行、傷害）

- 精神的な攻撃（脅迫、中傷、名誉棄損、侮辱、暴言）
- 威圧的な言動
- 土下座の要求
- 継続的な（繰り返される）、執拗な（しつこい）言動
- 拘束的な行動（不退去、居座り、監禁）
- 差別的な言動
- 性的な言動・セクシュアルハラスメント
- 職員個人への攻撃、要求・プライバシーの侵害

3. カスタマーハラスメントへの対応

当組合は、以下の体制を構築しています。

- カスタマーハラスメントへの対応方法や手順等を定めた「カスタマーハラスメント対応要領」の制定
- 役職員への教育・研修の実施
- 職員のための相談窓口、メンタルケア体制の整備等

そのうえで、カスタマーハラスメントであると判断した場合には、役職員一人ひとりを守るため、組織で毅然とした対応を行います。

なお、カスタマーハラスメントが継続する場合や、特に悪質と判断される場合等には、警察・弁護士と連携するなどし、厳正に対応いたします。

4. 組合員・利用者及び取引先の皆さまへのお願い

当組合は、今後も引き続き、農業と地域社会に根差した組織として、組合員・利用者及び取引先の皆さまと良好な関係を築いてまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

比布町農業協同組合

代表理事組合長 大西 勝 視

理事会報告

次の案件について協議し、承認決定されました。

第9回理事会

令和7年10月27日

①カスタマーハラスメント対策基本方針の制定について

第10回理事会

令和7年11月21日

- ①出資金の異動について
- ②貸出金の手形貸付について
- ③12月組合員懇談会開催要領等について
- ④役員報酬審議委員の選任について

JAへの就職希望者100%就職内定 (令和7年度実績)

令和8年度入学生第3回募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年●寮完備(個室)/通学も可
- 受験資格:満27歳未満(令和7年4月1日現在)/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:令和8年2月15日(日)●願書受付:令和8年1月6日(火)~1月23日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校



一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 【JAカレッジ】で検索

検索

JAびっぷ町公式 SNS

JAびっぷ町では、公式SNSで、JAびっぷ町からのお知らせや、営農情報などを発信しています。広報誌では掲載できないカラー写真や動画なども配信していますので、忙しい時でも情報を受け取ることの出来る公式SNSを是非ご利用ください。



LINE公式アカウント

JAびっぷ町からの無線放送の一部をお届け。



Facebook

JAびっぷ町からの営農情報や、各課からのお知らせなどをお届け。

謹んで新春の
お慶びを
申し上げます

平素のご厚情に心より
感謝申し上げます
本日も変わらぬご交際のほど
何卒よろしくお願い申し上げます

組合長 大西 勝 視
参事 浅野 仁 志
信用担当事 鎌田 貴 之
営農担当事 藤本 敏 之

《内部審査室》

室長 大仙 裕 之
嘱託職員 広瀬 利 正

《管理課》

課長 高木 明日香
課長補佐 牧野 由 希
臨時職員 川本 未 咲

《金融共済課》

課長 鎌田 貴 之
(貯金)
課長 茂野 靖 子
係 小笠原 ありさ
係 宮越 万 依
係 大槻 紅 音
(共済)
係長 太田 慎 吾
係 北村 勇 登
臨時職員 菊地 友 美
臨時職員 高橋 由香利
(融資)
課長補佐 福島 敦
係 木下 春 菜

《営農課》

課長 藤本 敏 之
課長補佐 越智 悠 太
係長 岡本 拓 実
係 久保田 将 裕
準職員 福井 睦 美

《営農販売課》

課長 吉見 和 宏
課長補佐 三島 邦 浩
係長 谷口 大 樹
係長 野澤 志 帆
係 大洲 陽 弘
係 野林 雅 哉
係 向井 龍 也
係 福井 佐 葵
臨時職員 阿部 洋 二

《生産資材課》

課長 今井 隆
(資材)
課長補佐 寒河江 友 博
係長 勘崎 貢 司
係長 大野 功 郎
係 村澤 悠 真
係 片倉 直 子
臨時職員 太田 正 二
(給油)
係長 大崎 一 広
準職員 原田 真千子
臨時職員 芦野 道 男
臨時職員 高橋 利 弘
臨時職員 石附 早 紀



JAぴっぷ町 くみあいだより Vol.488

比布町農業協同組合

〒078-0342 北海道上川郡比布町西町3丁目5番14号 TEL0166-85-3111

ホームページ <http://www.ja-pippu.or.jp/>

●発行/令和8年1月 ●発行者/大西 勝視 ●編集責任者/営農課